

安全だより

無事故・無災害を自指して

2019年度(令和元年度)第3号

発行日：2019. 9. 25

発行：福山市新涯町二丁目21番30号

公益社団法人福山市シルバー人材センター

安全委員会

TEL (084) 953-5222

FAX (084) 953-5233

安全対策重点項目

[10月] 保護具装着・・・ヘルメット・安全帯の装着を確実にする。

[11月] 就業現場の環境整備・・・十分な作業計画を立て、障害物は撤去する。

熱中症対策期間終了と体調管理について

熱中症対策期間は、当初の予定通り8月31日で終了しました。今年も暑い日が続き、みなさんも作業が大変だったと思います。

熱中症に関連しては、昨年度の8件には至らなかったものの、調子を崩し、病院へ搬送された事案もありました。幸い、大事には至りませんでした。1歩間違えば、深刻な事案になっていた可能性があります。

さて、9月も下旬に入り、ずいぶん過ごしやすくなりましたが、寒暖の差で体調が崩れやすくなりますので、体調管理に努めてください。

また、夏場の作業の遅れを取り戻そうとして精力的に就業されている方も多いと思いますが、無理をすれば、あせりが生まれ、事故を起こしやすい状況を生みます。安全就業を常に意識して作業をしていただきますようお願いいたします。

事故発生状況について

前号に間に合わなかった事案も含め、傷害6件、賠償4件、合計10件の報告となります。

[傷害事故]

① 什器が倒れ左手を損傷 (5月20日)

梱包されていた什器の包装を解いていたとこ

ろ、左手のうえに倒れ、打撲を負ったもの。

② 段差による転倒事故 (6月10日)

植栽帯の除草ゴミを回収し、一段(15cm程度)下がった歩道に右足から移動した際、足くびをひねり、靭帯損傷を負ったもの。

③ 側溝内への転落事故 (6月14日)

除草作業を終え、道路側から側溝を跨いで移動しようとした際、誤って左足を側溝内に踏み込み、転落し、脚を骨折したものの。

④ ハチ刺され (7月23日)

墓苑の草刈り中、腕に痛みを感じたため、見てみるとハチが止まり、刺していた。

⑤ 転倒事故 (8月16日)

公園内を清掃中、突風に脚を取られ転倒した際、転倒し、右肩の靭帯を損傷したものの。

⑥ チェーンソーによる自傷事故 (8月20日)

伐採後に、山積みになった樹木の枝葉をチェーンソーで裁断中、チェーンソーを振り下ろした拍子に、刃が右膝上に接触し、裂傷を負ったもの。

[賠償事故]

① 外灯の破損 (6月20日)

樹木を伐採作業中、その樹木から延びていたツタが外灯に絡まっていたため、樹木が倒れた拍子に外灯に接触し、破損させたもの。

②刈払機によるケーブルの切断事故（6月24日）

芝地を自走式刈払機で草刈中、ケーブルが通っていたことは認識していたが、作業する間にケーブルの存在を失念し、断線したものの。

③剪定鋏による断線事故（7月1日）

アパートの2階通路に這いあがっていたバラを剪定中、ツル内を通過していたテレビ受信用ケーブルを枝と見間違い、剪定鋏で切断したものの。

④立体駐車場での車両損傷事故（8月23日）

立体駐車場に、規格外の高さの車両を入庫させたため、車庫室に格納した際に車両の屋根が車庫室の天井と接触し、損傷させたものの。

[まとめ]

傷害事故の半数は、転倒・転落事故が占めており、筋力やバランス感覚の低下が原因と考えられます。普段からウォーキング等で筋力維持や作業前のストレッチ等の予防対策を行いましょう。

賠償事故については、注意不足が原因と考えられます。これまでも徹底を周知しておりますが、危険個所等には前もって目印を付け、目視が出来るようにするとともに、作業開始直後の集中力のある時に優先して作業を行う等していれば防げていたのではないかと考えられます。

就業中の事故の原因は、体力や集中力の低下等、個々の会員に起因することもあります。根底には、安全に対する自覚不足とグループ間で仕事の段取り等の必要な情報の共有が出来ていないことが挙げられます。具体的には、

①作業範囲、仕上がり具合、見積金額（作業時間数・完了期日）等の仕事の具体的な内容

②危険個所、作業手順、役割分担等、安全に効率よく作業を行うための情報

③必要な情報を知らず、自分の判断で作業を行っていること

以上のことを踏まえ、自分たちのグループの作業前ミーティングが適切に行われているかを確認し、作業後には次の内容を確認してください。

- ・打合せ通りの内容に仕上がっているか
- ・作業に伴う破損箇所はないか
- ・メンバーの体調に異常はないか
- ・ヒヤリ・ハットはなかったか

まずは作業前・後のミーティングを習慣づけ、その上で「安全就業は全員で進めていくもの」であることを自覚していただきたいと思います。

ハチ刺されに注意

今月の事故報告にもありますが、11月頃まではハチ刺されに対する注意が必要です。特に、スズメバチは9月～10月が一番活発な活動時期のため、次のことを参考にしてください。

[予防]

- 長袖・長ズボンを着用し、露出部分を少なくする。
- 黒色は避け、白や黄色の服装・帽子を着用する。
- ハチの巣には近づかない。
- ハチから警告を受けた場合、ゆっくり、静かに後退。
- 攻撃されたときは、追い払うと余計に興奮させるため、慌てず静かに立去る。
- 虫刺されの薬、殺虫スプレーを携帯する。

[刺された場合の対応]

- 刺された場所から遠くに離れる。
- 刺された箇所周囲を強くつまみ、毒を絞り出す。
- 流水等で水洗いし、タオル等で冷やす。
- 患部に虫刺されの薬を塗る。
- 発疹、流涙、せき、嘔吐、下痢の症状がみられる場合、一刻も早く医師の手当てを受ける。